

無彩色にポイントで入れる

無彩色でまとめたデザインの一部に有彩色を入れると、その部分には自然と注目が集まります。ポイントで入れた色のイメージにデザイン全体が左右されるため、少ない面積でも重要な役割を担います。

暖色のワンポイント



無彩色のなかに入れることで、赤の持つアクティブなイメージが強調されます。

寒色のワンポイント



クールでスタイリッシュな印象が高まります。ポイントにする部分のシェイプも重要です。

グラデーションを入れる



グラデーションでなじませながら、さりげなく色を入れる手法もあります。

複数のポイントカラー



複数のポイントカラーを使用するときは色面積の大小でメリハリをつけます。

- 無彩色デザインのポイントに有彩色を入れると存在感が高まる
- 少ない色面積でも、色のイメージを強調して読み手に伝えることが可能

>>> Sample

Who 20~40代女性	What 高級感と美しさを演出したい	Case 新作コスメ広告
------------------------	------------------------------	------------------------



メインビジュアルをあえてモノトーンにすることで、商品のチークの色を際立たせています。キャッチコピーを大胆に配置して興味を惹きつけ、商品の色を強く印象づけます。

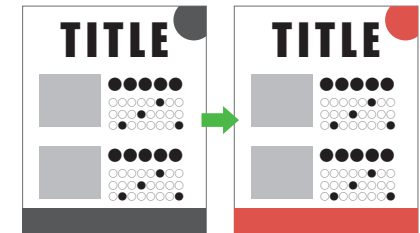
作例カラー

C 24 R 195 M 84 G 72 Y 60 B 81 K 0	C 86 R 2 M 52 G 107 Y 5 B 177 K 0	C 0 R 35 M 0 G 24 Y 0 B 21 K 100
#C34851	#026BB1	#231815

大人の女性に向けたコスメとして、深みのあるチークの赤をメインにした配色。青を使用したブランドロゴはさりげなく配置することで、メインの赤のイメージを崩さないようにメリハリをつけています。

無彩色のデザインをベースにする

無彩色は、どんな有彩色と組み合わせても差がはっきりとする万能色。組み合わせる色を検討する際は、まず無彩色のみでデザインをつくってからポイントの色や配置を検討すると、イメージをつかみやすくなります。



少しずつ有彩色を足していき、全体のバランスを見ながらポイントにする位置を検討します。